



「ふるさとを愛し、
生きていく力を育む萩っ子」の育成を目指します

蛇に学ぶ (3学期始業式・校長の言葉より抜粋)

校長 河村 康郎

年が明けて2025年が幕を開けました。一年前の元日に能登地方で大地震がありました。夏には能登豪雨が起ったこともあり、未だ復興が進んでいないところもあります。一日でも早く復興されることを願っております。

さて、2025年は、なに年か知っていますか？そうです、今年は蛇年です。皆さんはヘビに対してどんな印象がありますか？

一般的に言われているヘビについての話を紹介したいと思います。

・ヘビは神聖なるものの象徴

ヘビの中には毒を持っているものもあり、恐怖や不気味などというイメージが強いかも知れませんが、日本だけではなく、世界各地でヘビは神聖なものとして扱われてきました。特に白いヘビは商売繁盛や金運アップとも言われています。

・ヘビは「知恵」の象徴

ギリシャ神話やグリム童話において、ヘビは人に知恵を与えた生き物として描かれています。アダムとイブについて書かれている「創世記」では、2人はヘビに騙されて禁断の実を食べてしまうという話もあります。

・ヘビは「再生」や「治療」の象徴

ヘビは脱皮を繰り返して生き延びることから「再生」や「治療」の象徴と言われています。WHO（世界保健機関）のロゴマークには、杖に巻き付いたヘビが描かれています。この杖はギリシャ神話に登場する「治療の神」アスクレピオスが持っていたものが元になっているそうです。（※裏面に続編を載せてあります。読んでみてください。）



ここまでの内容は諸説あります。一つのお話として聞いてもらえばいいと思います。

今、皆さんは希望に満ちた新年を迎えていると思います。今年は、変化の年、再生の年。知恵をもって一年間がんばりましょう。今学期は学校生活で一番短い学期です。あっという間に終わってしまいます。一日一日を大切にしてください。特に3年生は、9年間の義務教育が修了となります。最後まで一緒にがんばりましょう。

☆保護者の皆様へ

2025年もお世話になります。よろしくお願いいたします。

感染症が猛威を振るっています。年末・年始にかけて体調を崩された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。感染予防にこころがけ、この冬を乗り切りましょう。

